

ふくせん

# 貸与・販売の在り方調査研究実施



岩元文雄理事長

全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）は、

6月22日に社員総会を開催し、昨年度の事業・決算報告、役員を選任などをを行った。  
冒頭、挨拶に立った岩元文雄理事長は、福祉用具貸与・販売の在り方などが今後の検討課題に

なっていることに対し、「令和3年度老健事業」で、貸与・販売の在り方に関する調査研究事業に応募し採択された。制度の根幹にかかわる重要な調査研究で、福祉用具サービスが今後の動向に関する講演会をブロック未設置地域も含め開催する」と、調査研究事業の重要性を強調。会員に対し、貸与履歴データの収集、アンケート・ヒアリング調査などへの協力を呼び掛けた。  
今年度の事業計画では、調査研究事業のほか、貸与・販売の在り方等について、今後の動向に関する講演会をブロック未設置地域も含め開催することや、昨年度取り組んだ「ハンドル形電動車いすの安全利用に係る調査研究事業」での安全利用講習会の実施、介護サービス情報の公表制度で公表が義務化された、認知症および認知症ケアに関する研修やプライバシー保護の取組に関する研修などを実施していく。